

人口減に負けないまちづくりを 全国各地から延べ約 580 人が参加し盛大に開催

創造的まちづくりを学び、交流

「第23回全国小さくても輝く自治体フォーラム in 訓子府町」が、7月13日・14日に訓子府町で開催されました。全国23都道府県（79市町村）から約200人、さらにオホーツク管内市町村の職員研修や町民の方の一般公開を含めると300人近くが来場し、2日間で延べ約580人が参加しました。

自律（立）をめざす小規模自治体の継続と発展を図ることを目的としたフォーラムは、13日に記念講演が行われ、世界的に著名な劇作家で演出家の平田オリザ氏が「新しい広場をつくる ―机上の論理ではない文化による地方創生―」と題し、文化を軸とした都市からの移住などを提案しました。

14日は「地域経済の振興」「移住・定住、教育子育て」「文化・芸術」をテーマにした3分科会が開かれ、道内6市町からそれぞれのまちづくりの取り組みを紹介。訓子府町からは、第1分科会で「訓子府農業の強みとは？―地域主体の農業振興―」（発表者＝大里孝生農林商工課長補佐）、第2分科会で「認定子ども園の教育と保育―地域における子育て支援の核として―」（発表者＝吉田寛子ども園長・伊田彰企画財政課長）の発表が行われました。

また、続いての「リレートーク」では、菊池一春町長のほか、ニセコ町の片山健也町長、下川町の谷一之町長が登場し「小さいからできる自治」をテーマに、各町長が人口減歯止めの移住・定住策などまちづくりについて語り合いました。



分科会



❖開会行事や交流会で町民が歓迎

13日の開会行事では、町民合唱団「KNP」と絵本パフォーマーで知られる森下智崇さんが歌と紙芝居で、また、交流会では訓子府民謡同好会と居武士クラブが民謡とバンド演奏で参加者を歓迎しました。



地域活性化チャレンジ事業

1法人が 採択対象事業に 決定しました

町民税1%を活用した平成30年度の「地域活性化チャレンジ事業」の対象事業が決まりました。

下表の1法人で、7月4日に菊池町長から採択決定通知書が手渡されました。



事業名	申請団体（代表者）	事業内容
訓子府町内で採取した天然蜂蜜を利用したスキンケア商品の開発事業	㈱菅野養蜂場 (代表取締役 菅野 富二)	現在販売しているタンポポ蜜をはじめとする国産天然蜂蜜を原料として、自然派せっけんなどのスキンケア商品の開発を行う。札幌市の㈱サボン・デ・シエスタとの共同事業で、商品の企画、原材料の蜂蜜の提供、デザインおよび販売を㈱菅野養蜂場が行い、㈱サボン・デ・シエスタが製造を行う。

夏の交通安全運動

セーフティコール

夏の交通安全運動が7月11日から20日まで展開され、訓子府町交通安全推進委員会では、運動期間中の11日、ポケットパークを会場に、セーフティコールを実施しました。

北見警察署や訓子府町交通安全協会、各事業

所、スポーツ少年団などから約180人が参加しました。

また、集会では菊池町長らが「交通事故死ゼロ」を推進するため、交通安全を呼びかけました。



交差点は危険地帯！

オホーツク管内で交差点における死亡事故が発生しています。交差点では、左右の安全確認を

行いましょう。

■交差点事故防止ポイント

- ・一時停止は必ず守りましょう
- ・慣れた道でも十分注意しましょう



平成30年度自衛官募集

自衛隊帯広地方協力本部北見地域事務所 (☎ 23-6826)

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日（1次）
航空学生（海・空）	高卒（見込含む） 海：23歳未満 空：21歳未満	7月1日(日)～ 9月7日(金)	9月17日(月)祝
一般曹候補生			9月21日(金)・22日(土)
自衛官候補生	男子	18歳以上 27歳未満 年間を通じて	9月26日(木)・27日(木)：美幌 9月30日(日)・10月1日(月)：帯広
	女子		9月28日(金)：美幌 9月29日(土)：帯広

